



高松市は、お互いに人格と個性を尊重し合いながら、笑顔で暮らすことのできる、障壁のない地域共生社会の実現を目指しています。

高松市 × 香川大学 × 高松中央商店街

みんなでつくる共生社会

たかまつ楽楽ボード ができました！

これが
目印！▶



お問い合わせ 障がい福祉課 ☎839・2333



※この事業は「宝くじ助成事業」です。



▲詳しくはこちら



本市では、話し言葉によるコミュニケーションが困難な人を支援するため、香川大学と高松中央商店街と連携し、「コミュニケーション支援ボード」たかまつ楽楽ボード」を作成しました。
高松中央商店街の一部店舗で利用できるほか、ホームページからダウンロードしてどこでも自由に利用できます。

？ コミュニケーション 支援ボードってなに？

障がいのある人や外国人など、話し言葉によるコミュニケーションが困難な人が、イラストを指差しながら意思を伝えることができるツールです。

どうしましたか？



interview

たかまつ楽楽ボードを利用するお店の方に聞きました！
接客していると、外国人や障がいのある方に、お店側からどのように声をかければ良いのかとまどう場面があります。このボードがあれば、コミュニケーションの助けになるのいいですね。
お店では、足のサイズを測ったり、履きごちを確認したり、細かいコミュニケーションが必要となるので、そんな時にこのボードを活用していきたいと思っています。



LOLO靴店
店長 櫻村さん

interview

**たかまつ楽楽ボードを作成した
香川大学の皆さんに聞きました！**
このボードは、商店街の方に協力してもらいながら、どうすれば伝わりやすいものになるか考えて、イラストから作成しました。
外国人や障がいのある方に限らず、誰にとっても、わかりやすく使いやすいツールになっているので、商店街を利用するすべての方がこのボードを使って、より快適に商店街を楽しんでいただけたと思います。



香川大学 教育学部 特別支援教育領域専攻
香川大学 大学院 教育学研究科

の皆さん